

**北数教 札幌支部
研究のまとめ**

平成23年(2011年) 1月14日(金)

平成21年(2009年) 4月

支部研究 スタート

1年目/2年次研究

札幌支部 研究の重点

活用する力を育てる
問題解決学習の創造
～算数的活動を通じた授業改善～

算数教育を取り巻く状況

1, 世間の風潮 学力低下論争?!	2, 今、求められる学力 (新学習指導要領)
活用する力を育てる 問題解決学習の創造 ～算数的活動を通じた授業改善～	
3, 算数科の目標 (新学習指導要領)	4, 北数教の研究 成果と課題

研究の観点

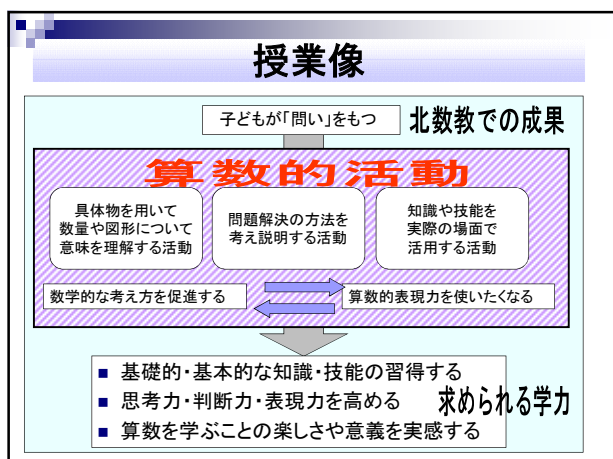
観点1 考える力を鍛える

観点2 表現する力を鍛える

教師が明確な意図をもち、子どもが本来もっているものをしっかりと引き出し鍛えていくことで、本当の力が身に付くと考えました。

研究の観点

<p style="text-align: center;">観点1 考える力を鍛える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・方法に関する考え方 ・内容に関する考え方 ・数学的な態度 	<p style="text-align: center;">観点2 表現する力を鍛える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現実的表現 ・操作的表現 ・言語的表現 ・図的表現 ・記号表現
<div style="border: 2px solid red; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block;"> <p style="color: red; margin: 0;">新しい算数を創っていく</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで学ぶ楽しさを実感 ・自分のよさ・友だちのよさを実感 	



- ### 研究推進
- 月例会
 - 夏の学習会
 - 第41回札幌支部大会(分散会場)
 - 冬の学習会

- ### 研究推進
- 月例会
 - 夏の学習会
 - 第41回札幌支部大会(分散会場)
 - 冬の学習会



- ### 研究推進
- 月例会
 - 夏の学習会
 - 第41回札幌支部大会(分散会場)
 - 冬の学習会

講演会

「移行期における実践の状況について」
～教科書作成の意図に迫る～

講師 長谷 豊 先生
世田谷区立桜小学校 副校長

研究推進

- 月例会
- 夏の学習会
- 第41回札幌支部大会(分散会場)
- 冬の学習会



研究推進

- 月例会
- 夏の学習会
- 第41回札幌支部大会(分散会場)
- 冬の学習会

テーマ 授業力を鍛える



提言者 森井 厚友 先生
齊藤 俊博 先生

平成21年度の研究から 見えてきたもの

- 子どもが「問い」をもつ
- 既習を活用する
- 授業をコーディネートする力をつける
- 板書の役割を考える
- 日常的な取り組みを地道に続ける

平成22年(2010年) 4月

支部研究 スタート

2年目/2年次研究

研究推進

- 月例会
- 夏の学習会
- 第42回札幌支部大会
(会場 山鼻小)
- 冬の学習会

研究推進

- 月例会
- 夏の学習会
- 第42回札幌支部大会
(会場 山鼻小)
- 冬の学習会

研究推進

- 月例会
- 夏の学習会
- 第42回札幌支部大会
(会場 山鼻小)
- 冬の学習会

**テーマ
算数的活動の実際**

講師 支部研究部員

研究推進

- 月例会
- 夏の学習会
- 第42回札幌支部大会
(会場 山鼻小)
- 冬の学習会



平成22年度の研究から
見えてきたもの 1

「考える力」 と 「表現する力」

平成22年度の研究から
見えてきたもの 1

- 「考える力」と「表現する力」は表裏一体であり、明確に分けられるものではない。また、それぞれの力を鍛える場も、単元構成と1単位時間というように明確に分けることは難しい。しかし、あえて「授業を創る」ということで、分けて考えた。そのことで、**双方のつながりがより密接であること、それをつなぐためには「良質な問い」が生まれなければならないことがはっきりした。**

平成22年度の研究から
見えてきたもの 2

「良質な問い」

平成22年度の研究から
見えてきたもの 2

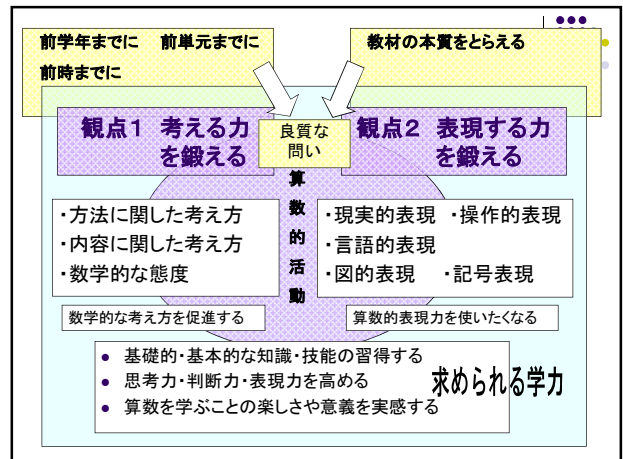
- 「良質な問い」が生まれるまでの過程を吟味する。
- 「良質な問い」が生まれるためには、**教材の本質をとらえる教師の「確かな目」**が必要である。教科書を読み込んでいくことで、それが可能になる。
- その「良質な問い」を追求していく中で、**どのような算数的活動を取り入れていくか。**それによって子どもの学びが深まったり高まったりしていくことができる。

平成22年度の研究から
見えてきたもの 3

「授業力を鍛える」

平成22年度の研究から 見えてきたもの 3

- 学びが深まったり高まったりしていくためには、**全体交流のあり方を吟味する**必要がある。そのために「**友だちの考えを読み合う**」活動は有効であった。そのためにも、自分の考えを表現できる力(現実的表現・操作的表現・言語的表現・図的表現・記号表現)をしっかりと身につけさせたい。
- **単元を通して、1年間を通して、教師が明確な意図をもって、地道に取り組んでいく**ことで、子どもが本来もっている力を「鍛える」ことができる。



1年 たしざん

課題 3+9の計算の仕方を考えよう

良質な問い 今日はどうしろの数が大きいよ。**前時とのズレ**
きのうと同じようにしてたせるかな？

算数的活動
積み木を動かす 絵でかく
言葉で表す 式で表す など

本時の目標
被加数・加数の大小に着目しながら、10のまとまりを作
ることを考えることができる。

2年 三角形と四角形

課題 四角形を2つに仲間分けしよう

良質な問い はどっちの仲間なの？ **友達とのズレ**

算数的活動
5つの四角形を仲間わけする
友だちの考え方を読み合う

本時の目標
具体的な操作活動を通して、直角や辺の長さに着目して
四角形の仲間分けについて考えることができる。

4年 面積のはかり方と表し方

課題 いろいろな形の面積を求めよう

良質な問い どんな工夫をしているのかな？

算数的活動
面積を求める活動
友だちの式を見て、工夫の仕方を考
える活動

本時の目標
図形にあった方法を考えながら、工夫して面積を求め
ることができる。

今後に向けて

日常実践を積み重ねる

- ①記録化する(板書を写真にとる、活動の様子を
写真にとる、子どものノートをコピーする等)
- ②追試を行う(北数教のHPに指導案がたくさん
あるので、学級の実態に合わせてやってみる)
- ③子どもに振り返りを書かせることで、自分の授
業を検証する

授業実践交流会



- 日 時 2月10日(木)
18:30~20:30
- 場 所 円山小学校

	発表者	アドバイザー
1年	浅沼 さゆり(中央)	野村 幸明(太平)
2年	高橋 謙介(札苗緑)	松村 聡(琴似中央)
3年	佐藤 貴幸(澄川)	佐藤 辰也(東札幌)
4年	西岡 紗希(琴似)	大桃 規之(共栄)
5年	金田 好弘(二十四軒)	熊谷 敏夫(南の沢)
6年	三塚 聡(西岡北)	渡辺 悟(清田南)